訓練などに使用する場合の注意

1. 避難訓練等に使用する場合は、点検業者またはメーカー等、消防設備士、消防設備点検資格者等に立ち会ってもらうこと。
2. 降下訓練は必ず上部1名以上、下部出口に1名以上の要員を配置すること。
   下部出口の要員は展張した時、袋本体が、正常に展張されていることを確認すること。(袋全体によじれ等がないことを確認する。)
3. 降下訓練時は必ず1人づつ降下し、脱出完了後次の人が降下すること。
4. 下部出口の要員は降下者が出口から安全に脱出するように必ず補助すること。
5. 降下時には、摩擦によりすり傷等を受ける場合もあるので長袖、長ズボン、手袋等を着用し、ハイヒール等のかかとのとがった履物で降下しないこと。
6. 降下時に足を急に広げたり摩擦の大きい履物で降下すると回転することがあります。
7. 訓練後は必ず元の状態に格納し、使用時に容易に展張できる状態にしておくこと。

避難器具の点検は有資格者によって、年2回行うように、法令で義務付けられています。

引き上げ格納の手順

①地上手順

1. 地上要員は張設ロープを最大の長さまで緩め、フックを固定環より外し蓋をする。
2. 張設ロープ滑車(2車)の先端のフックを袋本体の出口部左右の取手に1個ずつ引っ掛ける。

②上部手順

1. 取付具内のステップをもとに納める。
2. 伸長されている物は、入り口枠を先端より内部から順番に手前に折りたたみ、アームが折り畳まれた状態で(2段アームの伸張する物でベルトの付いている物は、ベルトで固定し)手前に回転させる。

⚠注意ー● アームを伸張したままの状態で入口金具を回転すると収納ができません。
● 入口金具を折り畳む時、手、衣類等を挟まない事。手や腕をケガする事があります。

3. 入口金具を取付具に納めた後、袋本体を引き上げる。

⚠警告ー● 引き上げる時、袋本体の自重で戻されて、転落等の恐れがあります。

⚠注意ー● 袋本体を引き上げる時、サッシの角、開閉用ストッパー等の障害物に引っ掛けないようにすること。

3. 張設ロープを受布にくるみ込み、出口部マットを二つ折りにしてくるみ込み袋本体出口部左右に付いているマジックテープに固定させる。

⚠注意ー● 地上要員は袋本体を引き上げる時、障害物等に引っ掛からないよう、誘導綱を持って誘導する。

4. 袋本体を引き上げた後、上部(袋入口部)から、つづら折りに入口金具の内部に格納する。

⚠注意ー● 使用時に容易に展張できるように、正常に格納する。

5. 下部出口部を上に乗せてバンドで入口金具、袋本体を締めて、誘導綱をもつれないように直径25cm～30cm位の輪に束ねて下部出口部の上にのせる。
6. 格納箱の分解型のものは、前板、上蓋をはめ込み止め金具を止める。
   手前引型の場合は、元の位置に格納箱を戻す。

注意ー● 正常に収納されていないと、非常時に使用できない場合がありますので正しく収納してください。
● 止め金具が止まっていることを確認すること。
● 格納箱の上や周囲には、使用時に障害になるような物を置かないこと。

安全上のご注意

◆この製品を安全で正しくご使用いただくために、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。
◆ここに示した注意事項は、安全に関する内容を記載していますので必ず守ってください。
◆表示と意味は、次のようになっています。

表　示	表示の意味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害などを負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・財産等に関わる損害をいいます。



お問い合せは・・・・・

ORIRO オリロー株式会社
本　社　〒112-0001　東京都文京区白山 4-25-6
URL : https://www.oriro.co.jp　e-mail : oriro@oriro.co.jp

札幌支店	〒060-0008	北海道札幌市中央区北 8 条西 24-1-3 TEL. 011-640-7744　FAX. 011-615-8299
東北支店	〒983-0043	宮城県仙台市宮城野区萩野町 1-16-6 TEL. 022-208-7744　FAX. 022-208-7747
北関東支店	〒350-2201	埼玉県鶴ヶ島市富士見 4-28-35 アークパレス 1F TEL. 049-279-7744　FAX. 049-279-7745
東京支店	〒112-0001	東京都文京区白山 4-25-6 TEL. 03-3814-7744　FAX. 03-3813-2909
横浜支店	〒232-0061	神奈川県横浜市南区大岡 2-17-24 TEL. 045-277-7744　FAX. 045-277-7745
名古屋支店	〒453-0804	愛知県名古屋市中村区黄金通 1-3 ファンファーレ黄金 1F TEL. 052-352-7744　FAX. 052-352-7775
大阪支店	〒552-0007	大阪府大阪市港区弁天 2-14-24 TEL. 06-6572-7744　FAX. 06-6574-2994
九州支店	〒815-0031	福岡県福岡市南区清水 3-9-21 TEL. 092-551-7744　FAX. 092-511-6555
新潟営業所	〒959-0227	新潟県燕市粟生津山王 724 TEL. 0256-92-7744　FAX. 0256-92-4949
埼玉東営業所	〒336-0022	埼玉県さいたま市南区白幡 5-16-20 ビューロ MK1F TEL. 048-829-7400　FAX. 048-829-7410
千葉営業所	〒273-0033	千葉県船橋市本郷町 421-2 大塚ビル 1F TEL. 047-311-4470　FAX. 047-311-4474
東京西営業所	〒183-0022	東京都府中市宮西町 3-5-4　パークヒル 2F TEL. 042-319-0644　FAX. 042-319-0844
メンテナンス部	〒113-0001	東京都文京区白山 1-23-12 清水ハイツ 1F TEL. 03-3815-7744　FAX. 03-3815-7745
広島出張所 (九州支店管轄)	〒732-0052	広島県広島市東区光町1-11-5 チサンマンション広島506 TEL. 082-258-7220　FAX. 082-258-7221



●本製品は予告なく変更することがあります

2026.08　改訂版

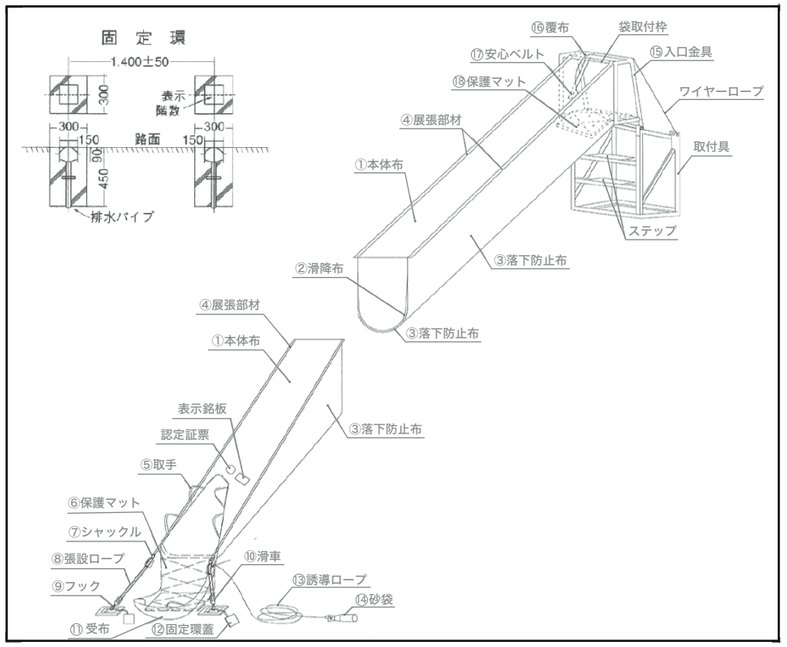
備えあれば安心・安全ライフ ORIRO

ORIRO 斜降式救助袋
取扱説明書

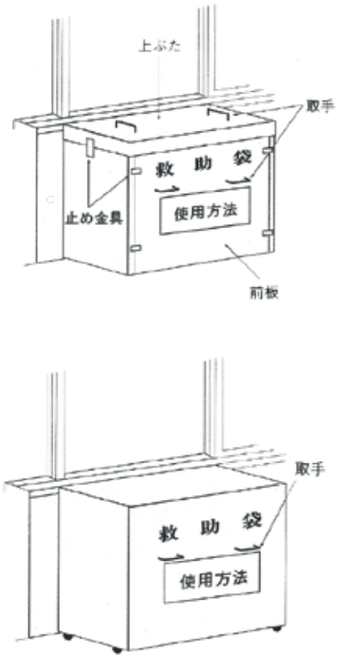
一般財団法人　日本消防設備安全センター
認定番号　ふS-005-1号（F-1）
　　ふS-005-4号（F-2）

構造と各部の名前

● ORIRO 救助袋 斜降式 F-1・F-2



格納箱



主要材料

（標準仕様）

	名称	材質	規格
袋本体	袋本体布	ポリエステル４号・５号	引張強さ　タテ､ヨコ 1.000N 以上
	落下防止布	ポリエステル５号	引張強さ　タテ､ヨコ 1.000N 以上
	受布・覆い布	ポリエステル４号・５号	引張強さ　タテ､ヨコ 1.000N 以上
	展張部材	ポリエステルベルト	引張強さ　14.500N×2 本
取付金具	取付具	鋼材	L−65×65×6 □−50×50×2.3
	入口金具	一般構造用鋼管	27.2φ2.8 34.0φ3.2 42.7φ3.5
縫糸		ナイロン、ポリエステル	#5､#2
誘導ロープ		PP マルチフィラメント	16打、6φ　オレンジ
吊りロープ		ワイヤロープ	6φ、8φ、10φ、12φ
保護マット		フェルト	厚さ 10mm 以上
取手		ナイロンベルト	50×2.0
下部支持装置		滑車、ビニロンテープ	１車、２車、ロープ 10φ
固定環		鋼板及びステンレス	150×150
名称		材質	仕上
格納箱	鋼板	ボンデ鋼板 1.2mm	粉体焼付塗装仕上
		ステンレス鋼板 1.2mm	ヘアライン仕上
		アルミ鋼板 1.5mm	アルマイト仕上
	取手	亜鉛合金	サチライトクロムメッキ仕上

荷重

種別	袋長	上部荷重(N)	下部荷重(N)	付加荷重(N)	荷重方向
斜降式救助袋	袋長が 15m 以下のもの	3.750N	2.850N	入口金具	上部 俯角 70 度 下部 仰角 25 度
	袋長が 15m を越え 30m 以下のもの	5.850N	5.250N		
	袋長が 30m を越え 40m 以下のもの	7.350N	6.450N		
	袋長が 40m を越えるもの	8.700N	7.500N		

種別	袋長	固定環等の引張荷重（N）	荷重方向（下部支持装置の展張方向）
斜降式救助袋	袋長が 15m 以下のもの	2.850N	25 度
	袋長が 15m を越え 30m 以下のもの	5.250N	
	袋長が 30m を越え 40m 以下のもの	6.450N	
	袋長が 40m を越えるもの	7.500N	

概要

◆◆◆ 斜降式 ◆◆◆

1. ORIRO 斜降式 F-1・F-2

災害時の避難を目的として、上部及び下部の操作にて取付口から地上の避難場所へおおむね 45 度の傾斜に展張した、袋の内部を降下する避難器具です。

2. F-1・F-2 の構造

袋本体はおおむね 45 度の傾斜に展張する、半円形の筒状の袋本体は、滑面を二重構造としさらに袋本体上部に２本の展張部材（ベルト）を縫着させ、袋本体に加わる荷重を保持する構造になっています。

3. ORIRO 救助袋 F-1・F-2 の仕様（表示）

袋本体の出口部付近に貼付けされてます。

①（一財）日本消防設備安全センターの個別認定合格の証票です。



①

（表示布）

②	ORIRO 救助袋			
③	種別	斜降式 F-※	階数	階 ④
⑤	展張方向		袋長	m ⑧
⑥	製造年月		製造番号	⑨
⑦	認定番号	ふS-005-※	型式記号	F-※ ⑩
	製造者	オリロー株式会社 東京都文京区白山4-25-6　TEL.03-3814-7744		⑪

②−当社の商標登録名です。
③−斜降式救助袋の種別登録記号です。
④−器具の設置されている階数の表示です。
⑤−降下する方向です。
⑥−製造された年月の表示です。
⑦−斜降式救助袋の認定番号です。
⑧−設置されている個所の袋本体の全長です。
⑨−製造された製品の製造番号です。（お問い合わせの際は製造番号をお知らせください。
⑩−斜降式救助袋の登録型式記号です。
⑪−製造元の表示です。

斜降式操作方法（上部操作）

①格納箱を取り外す（分解型）



1. 上蓋の両側についている止め金具を外し①取手を持って上蓋を取り外す。②
2. 前板の両側についている止め金具を外し③取手を持って前板を取り外す。④
3. 救助袋の取り付けてある開口部の窓、カーテン、ブラインド等を完全に開放する。

⚠ 注意− ● 格納箱の止め金具に指を挟まれないようにすること。指等に、ケガをする怖れがあります。

（手前引き型は、取手を持って手前に引き、取り除く。）

⚠ 注意− ● 手前に強く引くと倒れることがあります。

②バンドを引き、砂袋を投げる



1. 袋本体を締めてあるバンドを手前に引きバンドを解く。①
2. 誘導網の先端についている砂袋を地上に投下する。②

⚠ 注意− ● 誘導網の輪がもつれてないか確認する。
● 砂袋を投下する時、ひさしや、階下の屋根等の障害物がある場合は、引っ掛からないようにすること。砂袋が途中で引っ掛かると袋の展張ができません。
● 地上に人がいないことを確認すること。地上に人がいる場合は、注意して砂袋を投下すること。

③袋本体を降ろす



1. 袋本体を先端から徐々に地上に降ろす。①

⚠ 注意− ● 袋本体を降下させる時、障害物などにより途中で静止した場合は袋本体を引き上げ、降ろし直すこと。
● 袋本体を降下させる時にサッシの角、止め金具等の障害物に引っ掛からないようにすること。袋本体が損傷を受けることがあります。

▲ 警告− ● 袋本体が途中から自重で急速に落下することがありますので、手や衣服等を巻き込まれないこと。転落等の怖れがあります。

④入口金具を回転させる



1. 袋本体が降下し終わったことを確認する。①
2. 入口金具の両側のワイヤロープ２本を持つか④、または入口金具の下端部分のパイプを持って回転させる。②
3. 入口金具の２段、３段とアームを伸張する金具は折りたたんだままの状態にて回転させる。③

⚠ 注意− ● 入口金具を回転する時、指や衣服等を巻き込まれないこと。ケガの怖れがあります。
● 伸張させた状態で回転させると開口部上端に当たり回転できないことがあるのでしないこと。

4. 入口金具が一定の所で静止した状態で両端のワイヤロープ２本が正常に展張されているか確認する。④
２段、３段とアームを伸張する金具で、入口金具の上端部にバンドの付いているものは、バンドを引く、入口金具の内部よりアーム（支持枠）を伸張させ全体が正常に伸張されているか、内側、外側より確認する。

⚠ 注意− ● 正常に伸張されていないと降下できません。

降下方法

①降下する



1. 取付金具に設けられているステップを手前に倒す。①
2. 地上の合図により入口枠の上端を持って足から入り、正面にある安心ベルトを持って両足を揃えて降下姿勢をとる。②

▲ 警告− ● 降下者は、頭から袋の中に絶対に入らないこと。頭から地上に着地するため大変危険です。
● 袋の中に勢いよく入らないこと。加速がつき出口で飛び出す事があります。

⚠ 注意− ● 入口金具の入口部で立ち上がらないこと。立ち上がると開口部の枠等で頭を打つ事があります。

②降下姿勢



1. 両手を上にするか、または胸の上において自然体の姿勢で、かかとをやや上げて背及び腰部で滑り降りる。

⚠ 注意− ● 降下者は、腕や足を急に広げたり突っ張ったりすると急ブレーキがかかり、すり傷等を受ける怖れがあるのでしない事。
● 出口部では、両足が地面に着くまで絶対に立ち上がらないこと。
● 着地前に立ち上がり、左右に脱出すると転倒する怖れがあります。
● 出口部では、正面に向かって脱出し、できるだけ横方向には行かないこと。

③地上要員



1. 地上要員は、出口部の受布を持ち、降下者が出口部より飛び出さないように受け止める。
受布の注意表示布による。

⚠ 注意− ● 地上要員が受布を持っていないと降下者が飛び出す場合があります。

操作方法（下部操作）

地上の固定環にセットする（地上要員）



1. 地上要員は、降下してきた救助袋の階数表示を確認した上で固定環の蓋の階数表示と照合し蓋を開ける。

⚠ 注意− ● 階数表示を間違えると正常な展張ができません。

2. 袋本体出口部から接続されている、張設ロープ先端の滑車（２車）に付いているフックを取手より外し、袋本体がよじれていないか確認の上、左右のフックを見極めて固定環に１個ずつ掛ける。

⚠ 注意− ● 固定環にフックを間違えて掛けると、袋本体にねじれが生じ正常な展張ができなくなります。

3. 下端支持装置の張設ロープの先端のフックを固定環に引掛け、張設ロープの末端を滑車間のロープの中を通して①、地上高約 50㎝ 位の高さになるように充分に引き、ロープを逆方向に引っ張って固定する。②
袋本体出口部と地上面との高さが 50㎝ 以下に張設されたら、逆方向にロープの間に食い込ませ固定する。②

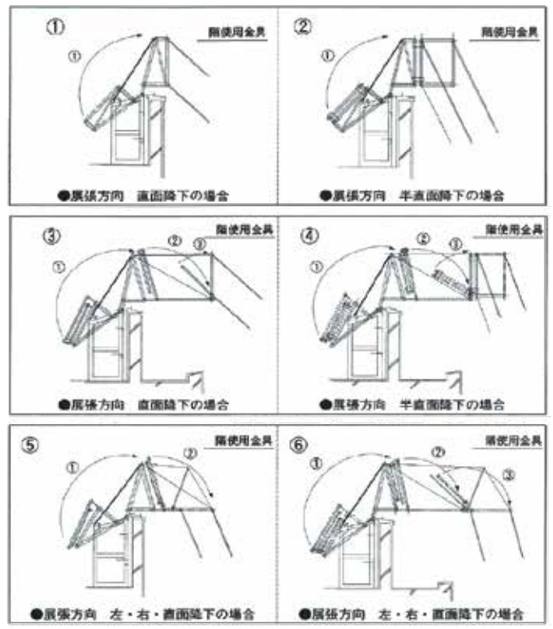
4. 袋本体の出口部に腰を下ろし荷重を掛け、袋本体が左右均等に展張されているか確認する。左右が均等でない場合は均等になるよう調整し、ロープを固定する。②

⚠ 注意− ● 袋本体が左右均等に展張されていないと片だるみが生じ降下しにくくなります。

5. 正常に展張されたら受布を持ち、上階の降下者に降下準備完了の合図を送ります。③

▲ 警告− ● 固定環にフックが正常に掛かっていない場合や張設ロープが充分に固定されていないと、落下等の原因になるので充分に確認すること。

取付金具の主な種類



⚠ 注意喚起　指・衣類のはさみ込み注意